

平成 29 年 2 月 28 日  
愛 媛 大 学

## 早期発見、継続治療で緑内障による失明を減らそう 「ライトアップ in グリーン運動」を展開

緑内障発見のための啓発運動期間として、「世界緑内障週間(3月12日～18日)」が設定されおり、愛媛県では3月12日(日)に、「松山城」「くるりん」がキャンペーンカラーである緑色にライトアップされます。

緑内障は、日本人の失明原因の第1位となっており、40歳以上の20人に1人は罹患していると言われております。初期には自覚症状がなく、かなり進行するまで気がつかない場合もありますが、早期に発見し治療を継続することで失明に至る可能性を減らすことができるようになってきています。

本キャンペーンを通じ、緑内障についての知識や早期発見、継続治療の重要性等を皆さんに知っていただき、40歳を過ぎたら眼の検診を受けるよう呼びかけていきます。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、是非取材くださいますようお願いいたします。

### 記

日 時：平成 29 年 3 月 12 日（日）日 没～23：00 松山城  
18:00～22：00 くるりん

実施概要：別紙をご参照ください

担当者(愛媛)：愛媛大学医学部 眼科学教室 溝上 志朗(みぞうえ しろ)

実施団体：日本緑内障学会、世界緑内障週間ライトアップ in グリーン実行委員会

後援：公益財団法人日本眼科学会、公益社団法人日本眼科医会

※送付資料 4 枚(本紙を含む)

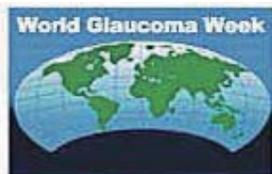
### 本件に関する問い合わせ先

愛媛大学医学部 眼科学教室

溝上 志朗

TEL：089-960-5361

Mail:mizoue@m.ehime-u.ac.jp



# 世界緑内障週間

緑内障発見のための啓発運動期間



2017年3月12日(日)-18日(土)

## ライトアップ in グリーン運動

Light Up in Green Campaign

# ICHIMORI



「松山城」 「いよつぎ鳥居 大観覧車くるりん」

緑内障は、



が大切です。

緑内障は、日本では中途失明原因第1位の進行性の疾患です。緑内障による失明を防ぐには、「早期発見」し「継続治療」を行なうことが大切です。自覚症状が無くても40歳を超えたら眼の定期健診を受けましょう。世界緑内障週間には、緑内障の事を知っていただくために、世界中でいろいろな活動が行われます。日本緑内障学会では、この期間に啓発活動の一つとして「ライトアップ in グリーン運動」を実施しています。

- 実施団体：日本緑内障学会  
世界緑内障週間 ライトアップ in グリーン実行委員会
- 後援：公益財団法人日本眼科学会、公益社団法人日本眼科医会
- 共催：愛媛県眼科医会
- 協力団体及び企業：アールイーメディカル(株)、大塚製薬(株)、カールツァイスメディテック(株)、クリュートメディカルシステムズ(株)、興和創薬(株)、参天製薬(株)、(株)シード、ジャパンフォーカス(株)、千寿製薬(株)、全日本空輸(株)、(株)東島エージェンシー、(株)トプコンメディカルジャパン(株)ニデック、日本アルコン(株)、(株)日本点眼薬研究所、(株)はんだや、(株)ビーライン  
緑内障フレンド・ネットワーク、わかもと製薬(株)  
※以上、アイウエオ順
- 連絡先：日本緑内障学会事務局 E-mail: jgs@g-jlmukyoku.jp

上記写真は2016年の実績の一部です。今年のライトアップ箇所は、日本緑内障学会のホームページをご確認ください。

緑内障ライトアップ 検索



3月12日～18日は「世界緑内障週間」

～早期発見、継続治療で緑内障による失明を減らそう～

## 「ライトアップ in グリーン運動」を展開

全国 27 都市 34 ヲ所のランドマークを、緑内障のシンボルカラー グリーンでライトアップ！！

3月12日(日)「松山城」と「くるりん」が緑色に輝きます！！

日本緑内障学会「世界緑内障週間 ライトアップ in グリーン実行委員会」(委員長:日本緑内障学会理事 桑山 泰明)は、緑内障の認知と啓発に向けて、各地のランドマークをグリーンにライトアップする「ライトアップ in グリーン運動」を、世界緑内障週間(3月12日～18日)に合わせて展開いたします。松山市では、3月12日(日)の日没後から「松山城」と「くるりん」が緑色にライトアップされます。

本キャンペーンを成功に導くためには、「ライトアップ in グリーン運動」を少しでも多くの人々に知っていただくことが不可欠です。できましたら貴社で報道していただきます様、お願い申し上げます。

超高齢社会の日本では、加齢とともに白内障、緑内障、加齢黄斑変性症など様々な目の疾患に罹る方が増えています。中でも、40歳以上の20人に1人が罹患しているとされる緑内障<sup>1</sup>は、日本人の中途失明原因疾患の第1位となっています。その一方で、近年の緑内障の診断技術や治療法の進歩により、早期に発見し治療を継続すれば緑内障により失明に至る可能性は大幅に減ってきています。しかしながら、緑内障は初期の自覚症状が極めて少ないため、気づいた時には進行していたという場合もまだまだ多くみられます。従って、緑内障による中途失明を減らすためには、緑内障について知っていただき、定期的な眼の検診を促す啓発活動が極めて重要となります。

世界緑内障週間<sup>2</sup>は、2008年から世界緑内障連盟(World Glaucoma Association)と世界緑内障患者連盟(World Glaucoma Patients Association)が主体となって世界一斉に行われている緑内障啓発のための国際的なイベントです。今年の世界緑内障週間は3月12日(日)～18日(土)の1週間にわたり、世界中で様々なイベントや啓発運動が同時に行われます。

日本ではこの期間、日本緑内障学会が緑内障への関心喚起を目的として、これまで様々な啓発活動を行ってきました。2015年からは、ランドマークを「緑内障」にちなんでグリーンにライトアップする「ライトアップ in グリーン運動」を開始しました。2015年は全国5箇所のライトアップでスタートしましたが、2016年は全国20箇所、そして2017年は全国34箇所と運動の輪はどんどん広がっています。



2016年世界緑内障週間に、グリーンにライトアップされたア秋田市内のセリオンタワー

<sup>1</sup> 日本緑内障学会多治見緑内障疫学調査(通称:多治見スタディ)  
主体:日本緑内障学会・多治見市 実施期間:平成12年9月～13年10月  
<http://www.ryokunaisho.jp/general/ekigaku/tajimi.html>

<sup>2</sup> World Glaucoma Week <http://www.wgweek.net/>

「世界緑内障週間 ライトアップ in グリーン実行委員会」では、城やタワー、高層ビルなど各地のランドマークをグリーンにライトアップする活動を通して、より多くの人に緑内障という眼の疾患に関心を持っていただくことで、早期発見そして失明予防につながることを願うものです。  
ご理解ご協力のほどをよろしくお願い致します。

「ライトアップ in グリーン運動」の詳細につきましては以下をご参照ください。

## 愛媛地区での「ライトアップ in グリーン運動」実施概要

### ■ライトアップ日時および対象

日時:3月12日(日)

#### ● 松山城

日没から 23 時まで

所在地 〒790-0008 愛媛県松山市丸之内1

#### ● 大観覧車 くるりん

18 時から 22 時まで

所在地 松山市湊町 5 丁目 1 番地 1 いやてつ高島屋

### ■本件に関するお問い合わせ先

愛媛大学医学部 眼科学教室 担当: 溝上志朗 (みぞうえ しろう)

TEL 089-960-5361 FAX 089-960-5364 溝上携帯 090-8693-8497

e-mail: mizoue@m.ehime-u.ac.jp

または、

ライトアップ in グリーン運動 広報事務局(共和 PR 内) 10:00~18:00 ※土・日・祝日を除く

小島、岡崎 ☎03-5537-0578 FAX03-5537-0470 e-mail [k.kojima@kyowa-pr.co.jp](mailto:k.kojima@kyowa-pr.co.jp)

### ■実施団体 日本緑内障学会 理事長 山本哲也

世界緑内障週間 ライトアップ in グリーン実行委員会 委員長 桑山泰明

### ■事務局 日本緑内障学会事務局 e-mail: [jgs@gakkaijimukyoku.jp](mailto:jgs@gakkaijimukyoku.jp)

### ■後援 公益財団法人日本眼科学会、公益社団法人日本眼科医会

### ■協力団体・企業

アールイーメディカル(株)、大塚製薬(株)、カールツァイスメディテック(株)、クリュートメディカルシステムズ(株)、興和創薬(株)、参天製薬(株)、(株)シード、ジャパンフォーカス(株)、千寿製薬(株)、全日本空輸(株)、(株)東急エージェンシー、(株)トプコンメディカルジャパン、(株)ニデック、日本アルコン(株)、(株)日本点眼薬研究所、(株)はんだや、(株)ビーライン、緑内障フレンド・ネットワーク、わかもと製薬(株)  
(以上、アイウエオ順)

### ■日本緑内障学会ホームページ <http://www.ryokunaisho.jp/>